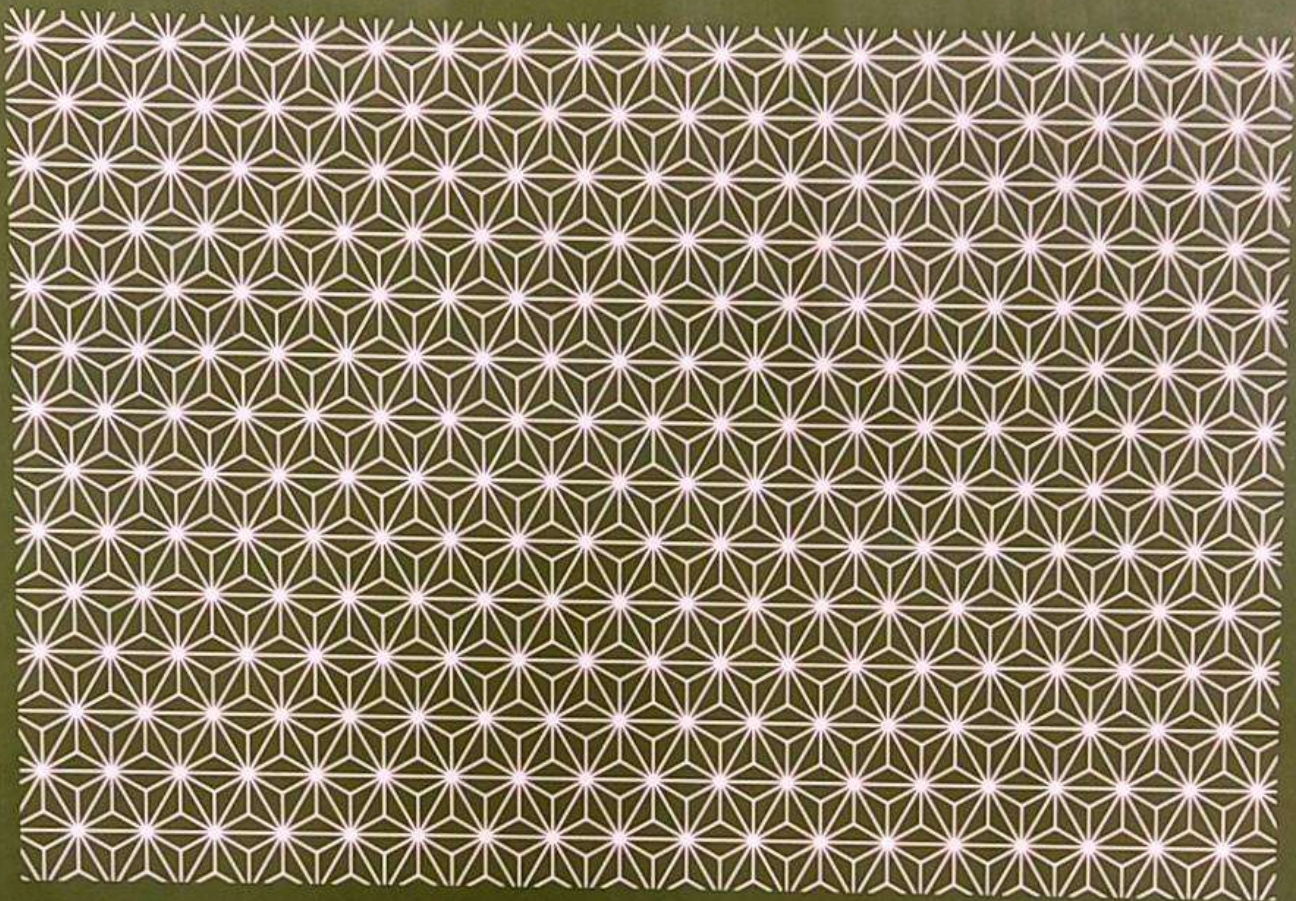


# 新完全マスター 文法

## 日本語能力試験 N1



友松悦子・福島佐知・中村かおり 著

- N1レベルで必要な 157 の文法形式を学習。
- 問題形式ごとに、必要な知識やスキルを効率的に学ぶ。
- 充実した解説と練習問題で「文章の文法」に対応。

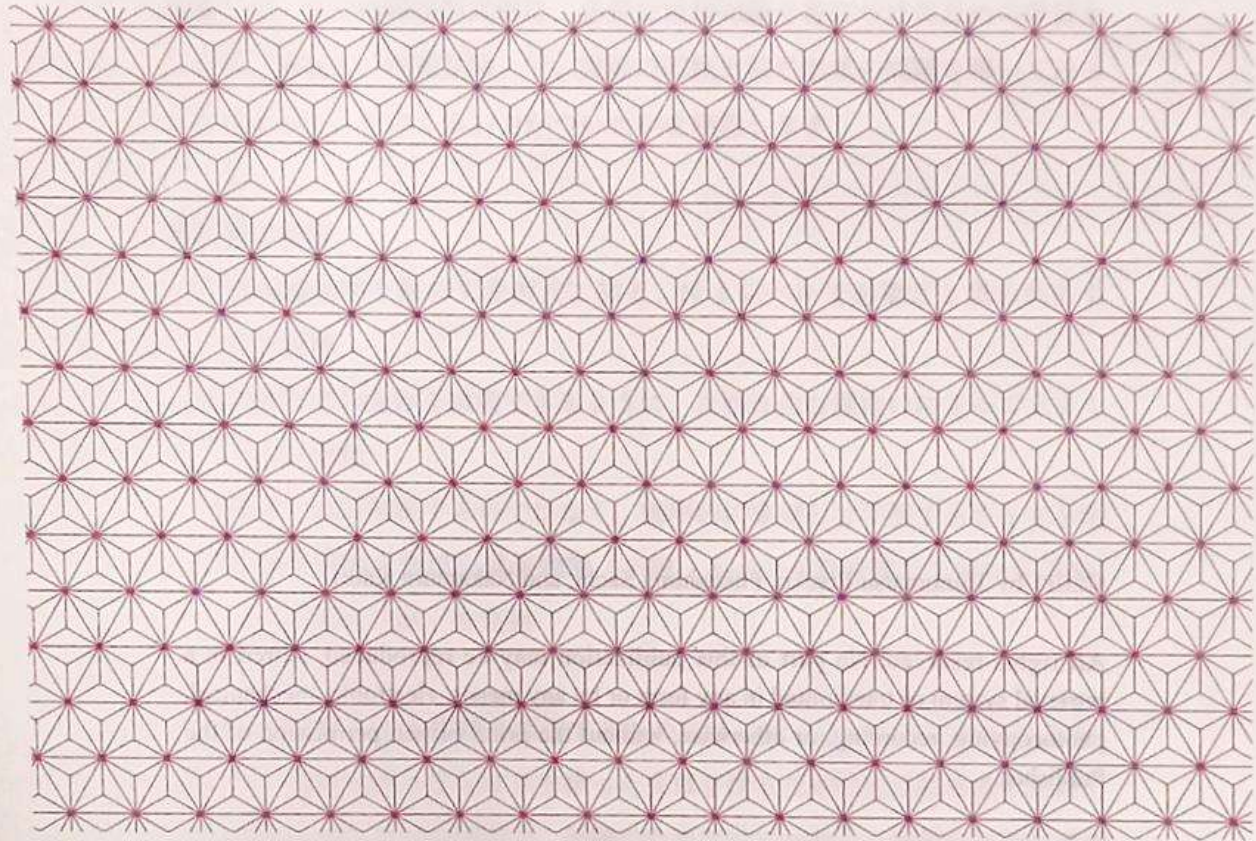
スリーイーネットワーク

はじめに

# 新完全マスター 文法

---

## 日本語能力試験 N1



友松悦子・福島佐知・中村かおり 著



スリーエーネットワーク

©2011 by Tomomatsu Etsuko, Fukushima Sachi, and Nakamura Kaori

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

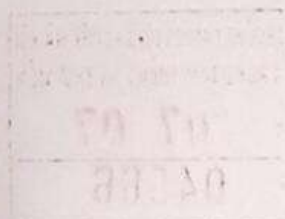
Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083,  
Japan

ISBN978-4-88319-564-0 C0081

First published 2011

Printed in Japan



## はじめに

日本語能力試験は、1984年に始まった、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験です。受験者が年々増加し、現在では世界でも大規模の外国語の試験の一つとなっています。試験開始から20年以上経過する間に、学習者が多様化し、日本語学習の目的も変化してきました。そのため、2010年に新しい「日本語能力試験」として内容が大きく変わりました。新しい試験では知識だけでなく、実際に運用できる日本語能力が問われます。本書はこの試験のN1レベルの問題集として作成されたものです。

まず「問題紹介」で、問題の形式とその解法を概観します。次に「実力養成編」で、三つの問題形式別に、必要な言語知識を身につけるための学習をします。最後に「模擬試験」で、実際の試験と同じ形式の問題を解いてみることによって、どのくらい力がついたかを確認します。

### ■本書の特徴

- ①旧出題基準1級の文法形式に加え、N1レベルで必要だと思われるものも網羅
- ②文法形式の全体を概観できるように、主観を含む度合いによって大きく三つに分類
- ③やみくもに暗記するのではなく、効率的に整理して学習することを示唆
- ④丁寧な解説と豊富な練習問題（小説、エッセイ等多様な文章から作成）で「文章の文法」を充実

言語を必要とする課題を遂行するためには、言いたいことが伝わる文を、そして、意味のあるまとまりを持った文章を作るための文法的知識が必要です。私たちは日ごろの授業で、試験のためだけではなく、実際の言語生活で役に立つような文法学習はどうあるべきかを考え続けてきました。本書が日本語能力試験の受験に役立つと同時に、日本語を使って学習・生活・仕事をする際にも役立つことを願っています。

本書を作成するにあたり、第一出版部の田中綾子さん、佐野智子さんには鋭いご指摘とご助言を頂きました上、原稿を丁寧に見ていただきました。心よりお礼申し上げます。

2011年6月 著者

# 目次

## はじめに

ほんしよ つか かた  
本書をお使いになる方へ..... VIII

## 問題紹介

|     |                                               |   |
|-----|-----------------------------------------------|---|
| I   | ぶん ぶんぼう ぶんぼうけいしき はんたん<br>文の文法1 (文法形式の判断)..... | 2 |
| II  | ぶん ぶんぼう ぶん く た<br>文の文法2 (文の組み立て).....         | 3 |
| III | ぶんしやう ぶんぼう<br>文章の文法.....                      | 4 |

## 実力養成編

### 第1部 文の文法1

#### I ことがらを説明する☆

|     |                                                      |    |
|-----|------------------------------------------------------|----|
| 1 課 | か じ かんかんけい<br>時間関係.....                              | 8  |
|     | 1. ~が早い <sup>はや</sup> か                              |    |
|     | 2. ~や・~や否 <sup>いな</sup> や                            |    |
|     | 3. ~なり                                               |    |
|     | 4. ~そばから                                             |    |
|     | 5. ~てからというもの(は)                                      |    |
|     | 6. ~にあって                                             |    |
| 2 課 | か はん い はじ げん ど<br>範囲の始まり・限度.....                     | 12 |
|     | 1. ~を皮 <sup>かわ</sup> 切りに(して)・~を皮 <sup>かわ</sup> 切りとして |    |
|     | 2. ~に至 <sup>いた</sup> るまで                             |    |
|     | 3. ~を限 <sup>かぎ</sup> りに                              |    |
|     | 4. ~をもって                                             |    |
|     | 5. ~といったところだ                                         |    |
| 3 課 | か げん てい ひ げん てい ふ か<br>限定・非限定・付加.....                | 16 |
|     | 1. ~をおいて                                             |    |
|     | 2. ~ならでは                                             |    |
|     | 3. ~にとどまらず                                           |    |

4. ~はおろか

5. ~もさることながら

#### 4 課 例示..... 20

1. ~なり…なり
2. ~であれ…であれ・  
~であろうと…であろうと
3. ~といい…といい
4. ~といわず…といわず

#### 問題(1 課~4 課)..... 24

#### 5 課 かんれん む かんけい 関連・無関係..... 26

1. ~いかんだ
2. ~いかんにかかわらず・  
~いかんによらず・~いかんを問<sup>と</sup>わず
3. ~をものともせず(に)
4. ~をよそに
5. ~ならいざしらず

#### 6 課 ようす 様子..... 30

1. ~んばかりだ
2. ~とばかり(に)
3. ~ともなく・~ともなしに
4. ~ながらに(して)
5. ~きらいがある

#### 7 課 ふ ずいこうどう 付随行動..... 34

1. ~がてら
2. ~かたがた
3. ~かたわら

# 目次

はじめに

本書をお使いになる方へ.....VIII

## 問題紹介

I 文の文法1(文法形式の判断).....2

II 文の文法2(文の組み立て).....3

III 文章の文法.....4

## 実力養成編

### 第1部 文の文法1

#### I ことがらを説明する☆

1課 時間関係.....8

1. ～が早い
2. ～や、～や古
3. ～なり
4. ～そばから
5. ～てからというもの(は)
6. ～にあって

2課 範囲の始まり・限度.....12

1. ～を皮切りに(して)・～を皮切りとして
2. ～に至るまで
3. ～を限りに
4. ～をもって
5. ～といったところだ

3課 限定・非限定・付加.....16

1. ～をおいて
2. ～ならでは
3. ～にとどまらず

4. ～はおろか

5. ～もさることながら

4課 例示.....20

1. ～なり…なり
2. ～であれ…であれ、  
～であろうと…であろうと
3. ～といい…といい
4. ～といわず…といわず

問題(1課～4課).....24

5課 関連・無関係.....26

1. ～いかんだ
2. ～いかにかわらず、  
～いかによらず・～いかに問わず
3. ～をものともせず(に)
4. ～をよそに
5. ～ならいざしらず

6課 様子.....30

1. ～んばかりだ
2. ～とばかり(に)
3. ～ともなく・～ともなしに
4. ～ながらに(して)
5. ～きらいがある

7課 付随行動.....34

1. ～がてら
2. ～かたがた
3. ～かたわら

## II 主観を含めて説明する☆☆

### 8課 逆接..... 36

1. ～ところを
2. ～ものを
3. ～とはいえ
4. ～といえども
5. ～と思いきや

### 問題(1課～8課)..... 40

### 9課 条件..... 42

1. ～とあれば
2. ～たら最後、～たが最後
3. ～ようでは
4. ～なしに(は)、～なしでは、～なくして(は)
5. ～くらいなら

### 10課 逆接条件..... 46

1. ～(よ)うと(も)、～(よ)うが
2. ～(よ)うと～まいと、  
～(よ)うが～まいが
3. ～であれ、～であろうと
4. ～たところで
5. ～ば～で、～なら～で、～たら～たで

### 11課 目的・手段..... 50

1. ～べく
2. ～んがため(に)
3. ～をもって

### 12課 原因・理由..... 52

1. ～からこそ
2. ～とあって
3. ～ではあるまいし
4. ～手前
5. ～ゆえ(に)

### 問題(1課～12課)..... 56

### 13課 可能・不可能・禁止..... 58

1. ～にかたくない
2. ～に～ない、～(よ)うにも～ない
3. ～て(は)いられない
4. ～べくもない
5. ～べからず、～べからざる
6. ～まじき

### 14課 話題・評価の基準..... 62

1. ～ときたら
2. ～ともなると、～ともなれば
3. ～ともあろう
4. ～たるもの(は)
5. ～なりに

### 15課 比較対照..... 66

1. ～にひきかえ
2. ～にもまして
3. ～ないまでも

16 課 結末・最終の状態..... 70

1. ~に至って・~に至っても
2. ~に至っては
3. ~始末だ
4. ~っぱなしだ

問題(1 課~ 16 課)..... 74

17 課 強調..... 76

1. ~たりとも...ない
2. ~すら
3. ~だに
4. ~にして
5. ~あつての
6. ~からある・~からする・~からの

### Ⅲ 主観を述べる☆☆☆

18 課 主張・断定..... 80

1. ~までもない
2. ~までだ・~までのことだ
3. ~ばそれまでだ
4. ~には当たらない
5. ~でなくてなんだろう(か)

19 課 評価・感想..... 84

1. ~に足る
2. ~に堪える／~に堪えない
3. ~といったらない
4. ~かぎりだ
5. ~極まる・~極まりない

6. ~とは

20 課 心情・強制的思い..... 88

1. ~てやまない
2. ~に堪えない
3. ~ないではすまない・~ずにはすまない
4. ~ないではおかない・~ずにはおかない
5. ~を禁じ得ない
6. ~を余儀なくされる／  
~を余儀なくさせる

問題(1 課~ 20 課)..... 92

## Ⅳ 文法形式の整理

- A 動詞の意味に着目 - 1 ..... 94
- B 動詞の意味に着目 - 2 ..... 98
- C 古い言葉を使った言い方..... 100
- D 「もの・こと・ところ」を  
使った言い方..... 102
- E 二つの言葉を組にする言い方..... 104
- F 助詞・複合助詞..... 106
- G 文法的性質の整理..... 108

## 第2部 文の文法2

- 1 課 文の組み立て - 1  
決まった形..... 112
- 2 課 文の組み立て - 2  
名詞を説明する形式..... 114
- 3 課 文の組み立て - 3  
接続に注意..... 116

だい ぶ ぶんしやう ぶんぽう  
第3部 文章の文法

|      |                                                     |     |
|------|-----------------------------------------------------|-----|
| 1 課  | 時制.....                                             | 120 |
| 2 課  | 条件を表す文.....                                         | 124 |
| 3 課  | 視点を動かさない手段 - 1<br>動詞の使い方、<br>自動詞・他動詞の使い分け.....      | 128 |
| 4 課  | 視点を動かさない手段 - 2<br>「～てくる・～ていく」<br>の使い分け.....         | 132 |
| 5 課  | 視点を動かさない手段 - 3<br>受身・使役・使役受身<br>の使い分け.....          | 136 |
| 6 課  | 視点を動かさない手段 - 4<br>「～てあげる・～てもらう・<br>～てくれる」の使い分け..... | 140 |
| 7 課  | 指示表現「こ・そ・あ」<br>の使い分け.....                           | 144 |
| 8 課  | 「は・が」の使い分け.....                                     | 148 |
| 9 課  | 接続表現.....                                           | 152 |
| 10 課 | 省略・繰り返し・言い換え.....                                   | 156 |
| 11 課 | 文体の一貫性.....                                         | 160 |
| 12 課 | 話の流れを考える.....                                       | 164 |

も ぎ し けん  
模擬試験

|          |     |
|----------|-----|
| 第1回..... | 170 |
| 第2回..... | 174 |

|         |     |
|---------|-----|
| 索引..... | 178 |
|---------|-----|

# ほんしょ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

## ほんしょ　もくてき ■本書の目的

ほんしょ　い　か　てん　おお　もくてき  
本書は以下の2点を大きな目的としています。

- ① ほん　ご　の　うり　く　し　けん　たいさく　し　けん　ごう　かく  
日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。
- ② ぶん　ぽう　の　うり　く　こう　じ　し　けん　たいさく　ぜん　ぽん　てき　ぶん　ぽう　も　から  
「文法」能力の向上：試験対策にとどまらない全般的な「文法」の力をつける。

## ほん　ご　の　うり　く　し　けん　ぶん　ぽう　もん　だい ■日本語能力試験N1 文法問題とは

ほん　ご　の　うり　く　し　けん　げん　ご　ち　し　き　ど　つ　かい　し　けん　じ　かん　ぶん　ちやう　かい　し　けん　じ　かん　ぶん　ふた  
日本語能力試験N1は、「言語知識・読解」（試験時間110分）と「聴解」（試験時間60分）の二つに分かれており、文法問題は「言語知識・読解」の一部です。

ぶん　ぽう　もん　だい　い　か　みつ　ぶん　ぶん　わ  
文法問題はさらに以下の三つの部分に分かれます。

- I　ぶん　ぶん　ぽう　ぶん　ぽう　けい　し　き　はん　だん  
文の文法1（文法形式の判断）
- II　ぶん　ぶん　ぽう　ぶん　く　た  
文の文法2（文の組み立て）
- III　ぶん　し　やう　ぶん　ぽう  
文章の文法

## ほんしょ　こう　せい ■本書の構成

ほんしょ　い　か　こう　せい  
本書は、以下のような構成になっています。

### もん　だい　しやう　かい 問題紹介

じ　つ　り　く　し　やう　せい　へん　だい　ぶん　ぶん　ぶん　ぽう  
実力養成編 第1部 文の文法1

- I　こと　が　ら　を　せつ　めい  
ことがらを説明する☆
- II　し　ゅ　かん　し　ゅ　かん　ふく　せつ　めい  
主観を含めて説明する☆☆
- III　し　ゅ　かん　の  
主観を述べる☆☆☆
- IV　ぶん　ぽう　けい　し　き　せい　り  
文法形式の整理

だい　ぶん　ぶん　ぶん　ぽう  
第2部 文の文法2

だい　ぶん　ぶん　ぶん　し　やう　ぶん　ぽう  
第3部 文章の文法

### も　ど　し　けん 模擬試験

い　か　し　やう　さい　せつ　めい  
以下に詳細を説明します。

### もん　だい　し　やう　かい 問題紹介

じ　つ　り　く　し　やう　せい　へん　だい　ぶん　ぶん　ぶん　ぽう  
実力養成編 第1部 文の文法1

N1レベルの文法形式を意味機能別に学習します。どんな文脈でどのように使うか、どんな文法的性質を持っているか、どのように整理して覚えるのが効率的かなどを例文と解説を通して学びます。各課に確認の練習問題(a～cの中から最も良いものを選ぶ)があります。また、4課ごとに学習した課までの確認問題

があります。

## 第2部 文の文法2

文を組み立てるために必要な知識を学習します。決まった接続のし方をする文法形式、決まった言葉と一緒に使われる文法形式、名詞を説明するときの決まった形などの観点から整理して学習します。

## 第3部 文章の文法

視点を統一したり接続表現や指示表現などの助けを借りたりすることで、文章は意味のあるまとまりを持ちます。このような文章にまとまりを持たせるための方法を学習します。

### 模擬試験

実際の試験と同じ形式の問題です。N2のレベルも含め、実力養成編で学習した広い範囲から問題を作っていますから、総合的にどのぐらい力がついたかを確かめることができます。

### ■凡例

文を作るときは、それぞれの文型に合うように前に来る語の形を整えなければなりません。本書では接続の形を次のように表示しました。

| 品詞   | 接続する形           | 例                        |
|------|-----------------|--------------------------|
| 動詞   | 動ない形            | 言わない +までも (第1部15課)       |
|      | 動な <del>や</del> | 言わ +んばかりだ (第1部6課)        |
|      | 動ま <del>ず</del> | つけ +っぱなしだ (第1部16課)       |
|      | 動辞書形            | の飲む +なり (第1部1課)          |
|      | 動ば形             | 愛していれば +こそ (第1部12課)      |
|      | 動う・よう形          | 起ころう +と (第1部10課)         |
|      | 動て形             | 生まれて +からというもの(は) (第1部1課) |
|      | 動た形             | 説明した +ところで (第1部10課)      |
|      | 動ている形           | 手伝ってもらっている +手前 (第1部12課)  |
| イ形容詞 | イ形い             | だらしな +といたらない (第1部19課)    |
|      | イ形ければ           | 苦しければ +こそ (第1部12課)       |
| ナ形容詞 | ナ形              | 残念 +極まる (第1部19課)         |
|      | ナ形な             | 残念な +かぎりだ (第1部19課)       |
|      | ナ形だ-である         | 慎重である+の +にひきかえ (第1部15課)  |



9784883195440

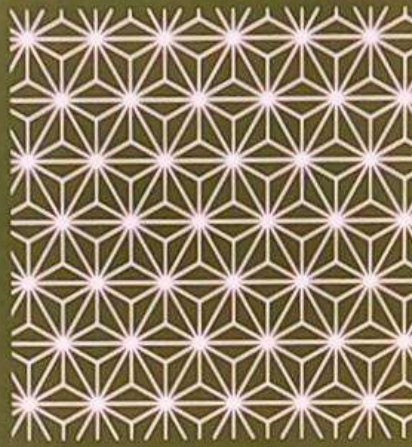


1920081012008

ISBN978-4-8831-9544-0  
C0081 ¥1200E

定価: 本体 1,200円 + 税

# 新完全マスター 文法



日本語能力試験 **N1**

TRƯỜNG ĐẠI HỌC CÔNG NGHIỆP  
TRUNG TÂM THÔNG TIN THƯ



Mã sách: 070704066

**Giá: 150.000đ**